

入札公告

次のとおり一般競争入札に付します。

ただし、本入札に係る落札の決定及び契約の締結は、当該業務に係る令和6年度予算が成立し、予算執行の事務手続が整うことを条件とします。

令和6年3月29日

分任支出負担行為担当官
十勝東部森林管理署長 三橋 博之

1 競争に付する事項

本件は、電子調達システム（以下「システム」という。）を利用できる案件である。

(1) 物件名

入札物件番号	物件の名称
第1号	令和6年度希少野生生物保護管理対策（シマフクロウ）

(2) 業務内容
(事業内容) 別紙仕様書のとおり

(3) 納入場所 十勝東部森林管理署管内（足寄町）

(4) 契約日 落札決定の日の翌日から起算して7日以内（行政機関の休日に関する法律（昭和63年法律第91号）第1条第1項各号に規定する行政機関の休日（以下「休日」という。）を含まない。）

(5) 履行期限
(事業期間) 契約締結の翌日から令和7年3月14日（金曜日）まで

2 競争参加資格

- 予算決算及び会計令（昭和22年勅令第165号。以下「予決令」という。）第70条に該当しない者であること。ただし、未成年者、被保佐人又は被補助人であつて、契約締結のために必要な同意を得ている者については、この限りでない。
- 予決令第71条の規定に該当しない者であること。
- 令和04・05・06年度農林水産省競争参加資格（全省庁統一資格）の『役務の提供等』の『調査・研究』においてA、B、CまたはDの等級に登録されており、北海道地域の競争参加資格を有する者であること。
- 北海道森林管理局長等から「物品の製造契約、物品の購入契約及び役務等契約指名停止等措置要領」に基づく指名停止を受けている期間中でないこと。
- 北海道に生息する野生生物の保護・管理に関する業務実績を有すること。
- 次の各号のいずれかに該当する者を、本件事業に従事させることができること。
ア 本件保護対象種について国又は地方公共団体が実施した類似の保護・管理事業において、巡視員又は調査員等として任命された実績を有する者。

イ 博士（農学、理学、環境科学、又は相当する分野）の学位又はこれに準じる資格（獣医師等）を有し、本件保護対象種の研究者として認められる者。

(7) ア システムにより入札する場合

令和6年5月10日（金曜日）午後5時までに上記（3）（5）（6）の証明書類をシステムにより送信しておかなければならない。また、委任状がある場合は、証明書類と併せて送信するか、別途システムにより委任状を登録しておかなければならない。

イ 紙入札により入札する場合

本公告に記載された資格を有していると認められる上記（3）（5）（6）の証明書類を令和6年5月10日（金曜日）午後5時までに4の（1）に示す場所に提出しなければならない。また、委任状がある場合は、当日の入札開始時刻10分前までに6の（2）に示す場所に提出しなければならない。なお、委任状提出時に本人確認を行うことがある。

ウ 業務実績証明書類は以下とする。

- ① 全省庁統一資格の写し。
- ② 北海道に生息する野生動物の保護・管理に関する業務実績を称する書類（受託契約書、業務報告書等）の写し。
- ③ 国又は地方公共団体から交付された巡視員、調査員等の任命書等の事業実績を証する書類の写し。【上記2（6）ア】
- ④ 博士の学位又は獣医師等の資格を称する書類の写し及び本件保護対象種に関する学術論文（本人が筆頭執筆者に限る）の写し。【上記2（6）イ】

3 入札の方法

(1) 紙入札により入札する場合は、入札書に物件番号・物件名を明瞭に記載して入札内訳書を添付すること。また、システムにより入札する場合は、入札内訳書を入札書に添付すること。

(2) 落札額の決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の消費税に相当する額を加算した金額（当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てるものとする。）をもって落札価格とするので、入札者は消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった金額から消費税相当額を除いた金額を入札書に記載すること。

4 契約条項及び北海道森林管理局競争契約入札心得を交付する場所並びに日時

(1) 場 所 十勝東部森林管理署 業務グループ（森林ふれあい担当）
北海道足寄郡足寄町北3条2丁目3-1
電話0156-25-3161

※ なお、契約条項については、北海道森林管理局のホームページ及びシステム上に入札公告の仕様書等として全て掲載しており、入札心得については、北海道森林管理局のホームページ上の次の場所に掲載しています。

[『北海道森林管理局ホームページ＞公売・入札情報＞競争参加資格関係・入札参加者への注意事項等＞資料7：北海道森林管理局競争契約入札心得』](#)

(2) 日 時 令和6年3月29日（金曜日）～令和6年5月10日（金曜日）
（ただし、休日を除く。）
午前9時～午後5時（ただし、正午～午後1時を除く）

5 仕様書等に対する質問

- (1) 仕様書等に対する質問がある場合においては、次により書面で、又はシステムにより提出すること。
- ア 受領期限 令和6年4月24日（水曜日）午後5時まで
持参する場合は、上記期限までの休日を除く毎日、午前9時～午後5時（ただし、正午～午後1時を除く。）
- イ 提出場所 〒089-3703 北海道足寄郡足寄町北3条2丁目3-1
十勝東部森林管理署 業務グループ（森林ふれあい担当）
電話0156-25-3161
- ウ 提出方法 書面の持参、システム、又は郵送による（様式自由）。郵送による場合は、受領期限必着とする。
- (2) (1)の質問に対する回答は、書面及びシステムにより行う。また、(1)の質問及び回答書は次のとおり閲覧に供するとともに、北海道森林管理局のホームページに掲載する方法により公表する。
- ア 閲覧期間 令和6年5月7日（火曜日）～令和6年5月10日（金曜日）（ただし、休日を除く）午前9時～午後5時
- イ 閲覧場所 (1)のイに同じ。

6 入札及び開札の日時、場所及び提出方法

(1) システムにより入札する場合

入札開始日 令和6年5月8日（水曜日）午前9時
入札締切 令和6年5月13日（月曜日）午前10時
締切後直ちに開札する。

(2) 紙入札により入札する場合

場 所 十勝東部森林管理署 会議室
北海道足寄郡足寄町北3条2丁目3-1
日 時 令和6年5月13日（月曜日）午前10時入札開始。
締切後直ちに開札する。

(3) 郵便により入札する場合

郵便入札を認める。郵便により入札を行う場合は、以下の日時、送付先に入札書が到着するように、郵便（書留郵便に限る）で差し出すこと。

ただし、再度の入札を引き続き行う場合には、郵便により参加した者は再度の入札には参加できません。

日 時 令和6年5月10日（金曜日）午後5時まで
送付先 〒089-3703 北海道足寄郡足寄町北3条2丁目3-1
十勝東部森林管理署 総務グループ（経理）

※ 郵便による入札書は、封筒に入れ密封し、かつ、その封皮に氏名（法人の場合はその名称又は商号）及び「何月何日開札、（物件番号・物件名）の入札書在中」と記した上で外封筒に入れて投函すること。

また、外封筒の封皮にも「何月何日開札（物件番号・物件名）の入札書在中」と記すこと。

※ 本公告等に記載された資格等を満たしていると認められる証明書類等を同時に提出する場合は外封筒に同封すること。

7 入札保証金及び契約保証金
免除する。

8 落札者の決定方法
予決令第79条に基づいて作成された予定価格の制限の範囲内で最低価格をもって有効な入札を行ったものを落札者とする。

9 入札の無効
本公告に示した競争参加に必要な資格のない者の提出した入札書及び入札に関する条件に違反した入札は無効とする。

10 契約にあたっては契約書を作成するものとする。

11 その他

(1) 本公告に記載のない事項については、仕様書、北海道森林管理局競争契約入札心得及び契約書（案）による。

(2) システムによる手続き開始後の紙入札方式への途中変更は、原則として行わないものとするが、入札参加者側にやむを得ない事情が生じた場合には、発注者の承諾を得て紙入札方式に変更することができるものとする。

(3) システムに障害等のやむを得ない事情が生じた場合には、紙入札方式に変更する場合がある。

※「電子調達システム」については、北海道森林管理局のホームページを参照願います。

https://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/apply/publicsale/keiri/denshi_chotatsu.html

(4) 入札者は、「責任あるサプライチェーン等における人権尊重のためのガイドライン」（令和4年9月13日ビジネスと人権に関する行動計画の実施に係る関係府省庁施策推進・連絡会議決定）を踏まえて人権尊重に取り組むよう努めること。

お知らせ

1 農林水産省の発注事務に関する綱紀保持を目的として、農林水産省発注者綱紀保持規程（平成19年農林水産省訓令第22号）が制定されました。この規程に基づき、第三者から不当な働きかけを受けた場合は、その事実をホームページで公表するなどの綱紀保持対策を実施しています。詳しくは、下記をご覧ください。

『[北海道森林管理局ホームページ](#)>[公売・入札情報](#)>[発注者綱紀保持対策](#)』

2 農林水産省は、経済財政運営と改革の基本方針2020について（令和2年7月17日閣議決定）に基づき、書面・押印・対面の見直しの一環として、押印省略などに取り組んでいます。